

令和4年度第3回津市健康づくり推進懇話会会議録

1	会議名	令和4年度第3回津市健康づくり推進懇話会																		
2	開催日時	令和4年11月24日（木）午後2時から午後3時30分まで																		
3	開催場所	津市役所本庁舎 8階大会議室 A（津市西丸之内23番1号）																		
4	出席者の氏名	（津市健康づくり推進懇話会委員） 深井英喜、清水真由美、草川雅之、亀井貴彦、松室泰輔、藤田創、柵博光、小林小代子、朝倉征子、溝田久孝、野口寛子、佐藤典子、川田いくこ、佐藤弘道、森田由貴、中川恵子、奥山典子、奥田忠司、盆野綾子（敬称略）（19名） （アドバイザー） 三重県津保健所 副所長兼保健衛生室長 紀平由起子 （事務局） <table> <tr> <td>津市健康づくり課</td><td>担当参事兼課長</td><td>米倉一美</td></tr> <tr> <td>津市健康づくり課</td><td>保健指導担当主幹</td><td>庄山直美</td></tr> <tr> <td>津市健康づくり課</td><td>保健指導担当副主幹</td><td>井川裕子</td></tr> <tr> <td>津市健康づくり課</td><td>保健指導担当副主幹</td><td>鈴木香</td></tr> <tr> <td>津市健康づくり課</td><td>保健指導担当</td><td>石川絵里子</td></tr> <tr> <td>津市健康づくり課</td><td>管理担当</td><td>浅井未彩希</td></tr> </table>	津市健康づくり課	担当参事兼課長	米倉一美	津市健康づくり課	保健指導担当主幹	庄山直美	津市健康づくり課	保健指導担当副主幹	井川裕子	津市健康づくり課	保健指導担当副主幹	鈴木香	津市健康づくり課	保健指導担当	石川絵里子	津市健康づくり課	管理担当	浅井未彩希
津市健康づくり課	担当参事兼課長	米倉一美																		
津市健康づくり課	保健指導担当主幹	庄山直美																		
津市健康づくり課	保健指導担当副主幹	井川裕子																		
津市健康づくり課	保健指導担当副主幹	鈴木香																		
津市健康づくり課	保健指導担当	石川絵里子																		
津市健康づくり課	管理担当	浅井未彩希																		
5	内容	1 あいさつ 2 津市第3次健康づくり計画5分野（生活習慣病・がん、休養・こころ、仲間づくり、感染症・熱中症、災害への備え）について 3 津市第4次健康づくり計画策定に向けて 4 津保健所からの情報提供 5 その他連絡事項																		
6	公開又は非公開	公開																		
7	傍聴者の数	0人																		
8	担当	健康福祉部健康づくり課 電話番号 059-229-3310 E-mail 229-3310@city.tsu.lg.jp																		

議事の内容 次のとおり

1. あいさつ

【事務局】

本日はお忙しい中、御参加いただきありがとうございます。定刻になりましたので、令和4年度第3回津市健康づくり推進懇話会を始めさせていただきます。新型コロナウイルス感染症についてですが、11月23日時点の津市における感染者の発生数は324件、三重県全体では2,066件で、感染者数は増加してきております。国は新型コロナウイルス感染症の特性の変化やワクチン接種の進捗に応じまして、高齢者や重症化リスクのある人に医療の重点を置きながら、陽性者の全数把握の簡略化や患者の療養期間の見直しとともに、全国旅行支援を実施してウィズコロナに向けた対策を進めているところでございます。新型コロナウイルスワクチン接種ですが、接種間隔が3カ月になりまして、5回目接種の対象の方へは、津市としましては、11月1日から接種券を順時発送しております。また、生後6カ月から5歳未満の乳幼児への接種も受けられるようになりました。今後もウィズコロナの中で基本的な感染防止対策とともに日々の健康観察の徹底を呼びかけていきたいと思っております。

お手元に置かせていただきました、津市健康づくり推進懇話会委員名簿をご覧ください。今回1名の懇話会委員の交代がございました。イオンリテール株式会社 イオン津店 藤井 浩史委員に代わりまして、奥田 忠司委員です。奥田様、お立ちいただき自己紹介をお願いいたします。

【奥田委員】

皆さんこんにちは。この度、この懇話会に参加させていただくことになりました、イオン津店の奥田と申します。こちらの方には津のサティと言った方が分かりやすいかもしれませんが、津のサティの店長としてこの秋から着任いたしまして、この場に今、居させていただくということでございます。少しでもお力になれるように頑張っていきたいと思っております。

【事務局】

奥田様ありがとうございます。よろしく願いいたします。また、第1回に御欠席、第2回はWeb参加いただいていた津商工会議所 藤田 創委員にも自己紹介をお願いしたいと思います。藤田様、お立ちいただき、自己紹介をお願いいたします。

【藤田委員】

皆様こんにちは、津商工会議所の藤田です。健康づくり推進懇話会は平成29年から委員として、3期目となります。最近、懇話会へのリアルでの参加ができていなかったところです。現地参加が久しぶりと思います。改めましてよろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございます。今回も本懇話会へ、津保健所からの立場として津保健副所長 紀平由起子様にも御参加いただきます。紀平様、よろしく願いいたします。

【紀平副所長】

よろしく願いいたします。

【事務局】

なお、本日は2名の方、柵委員と佐藤委員は Web 参加されていますので御了承下さい。本会議は津市情報公開条例第23条の規定に基づきまして、公開の対象となる為、議事の内容につきまして録音させていただきます。また内部資料とするため、会議の様子を撮影させていただきますので御了承下さい。それでは草川会長様、議事進行をよろしくお願いいたします。

2. 津市第3次健康づくり計画5分野（生活習慣病・がん、休養・こころ、仲間づくり、感染症・熱中症、災害への備え）について

【草川会長】

今日の会議は、第3次健康づくり計画の既に行っている取組や今後の課題をグループワークで話し合う、という内容です。私ですが、今日途中で抜けさせていただきますので御了承ください。それではまず第3次健康づくり計画の5分野について事務局から説明をお願いします。

【事務局】

それでは、津市第3次健康づくり計画、「生活習慣病・がん」、「休養・こころ」、「仲間づくり」、「感染症・熱中症」、「災害への備え」についての説明をさせていただきます。資料1をご覧ください。前回、第2回懇話会にてお話をさせていただきましたが、津市第3次健康づくり計画では、「こころ豊かに楽しく元気に暮らそう」という大目標を目指して、10の分野の目標を設定しております。まずは、もう一度計画書の62ページ、63ページをご覧ください。今回、赤く囲んだ後半5分野の状況について振り返っていききたいと思います。計画書80ページをご覧ください。目標は、「生活習慣病とがんを予防するために、健康的な生活習慣を身につけよう」です。ありたい姿を、「自分の適正体重を維持します」、「1日の食塩摂取量を減らします」、「年に一度がん検診や健康診査を受け、健康管理をします」、「子どもの頃から早寝早起きの習慣をつけます」としました。計画書の81ページに地域で進めていくことを記載しております。この地域で進めていく内容は、津市健康づくり推進懇話会において、具体的な内容を御提案いただき、各所属にて取り組んでいただいている内容となっております。

津市のがん検診について説明させていただきます。津市のがん検診は毎年7月から3月まで実施し、定期的な受診を啓発しています。今回、この受診率の算定は胃、大腸、肺がんは40歳以上、乳がんは30歳以上、子宮がんは20歳以上の人口に対する津市がん検診を受診した人の割合となります。評価指標の目標値は40～50%となっておりますが、目標値を設定した平成27年度時点での分母は人口ではなく、就業者数から農林水産業従業者を引いた数を平成22年の国勢調査の人口から引いた数となっており、現在の算定の方法とは異なっております。最近の傾向の一部を見ていただくために今回はお示しさせていただきました。また、令和3年度は緊急事態宣言が出されました8月から9月にかけての3週間程、がん検診の実施を中止している状況となっております。胃がん検診の受診率ですが、令和元年度に二重読影体制整備に伴い、内視鏡検査の対象を50歳以上の偶数年齢の人とさせていただいたことから、令和元年から受診者数は減少している状況となっております。次に大腸がん検診の受診率をご覧ください。こちらは、年々減少傾向となっております。また、肺がん検診につきましても受診率は年々減少傾向となっております。乳がん検診につきましては、受診率が年々減少傾向となっております。子宮がん検診については、受診率は横ばいでしたが令和3年度に少し減少いたしました。今後、現在集計中である第4次健康づくり計画策定のための成人アンケートの結果とも照らし合わせて総合的に検討していく予定となっております。次に津市特定健康診査を受診する人の割合となります。津市ではご自分の健康状態を確認していくために、毎年の健康診査の受診を啓発しております。がん検診と同様に、

緊急事態宣言より、令和３年度は８月から９月にかけて３週間程中止となっておりました。津市国保加入者が受ける特定健康診査の受診割合は横ばいが続いていましたが、令和２年度に減少となり、令和３年度に少し増加しました。また、体格が肥満判定となる人の割合は男性が少し増加しております。

次に休養・こころになります。計画書８６ページをご覧ください。目標は「ストレスと上手につきあおう」です。ありたい姿を、「自分のこころや体の変化に気付き誰かに相談します」、「ゆったりとした気分で子どもと過ごす時間を持ちます」、「ぐっすり眠るための生活習慣を身につけます」、「ありのままの自分を受け入れて認めます」としました。計画書８７ページに地域で進めていくことを記載しております。健康づくり課としては、妊娠届が出された母子健康手帳交付時から妊婦さんとのつながりを大事にし、安心して育児ができるように家庭訪問や乳幼児相談を実施するとともに、親と子が交流できる場として子育て支援センターの情報を提供しています。津市の最新のデータとしましては、ゆったりとした気分で子どもと過ごす時間がある母親の割合につきましては増加している状況となっております。

次は「仲間づくり」です。計画書８９ページをご覧ください。目標は、「人とのつながりをつくろう」です。ありたい姿を「地域の集まりや行事に参加します」、「同世代や職場以外にも仲間を持ちます」、「あいさつからはじめます」としました。計画書９０ページに地域で進めていくことを記載しています。健康づくり課では妊婦教室や子育てボランティアが開催する子育て広場など、子育て中の保護者が交流できる場を提供しています。また子育て支援センターを紹介しています。津市の最新のデータとしましては、この地域で子育てをしたいと思う親の割合については、令和２年度において増加していましたが、令和３年度において減少。評価指標の現状値と比較すると到達していない状況となっております。次に計画の評価指標ではありませんが、７５歳以上が受診する後期高齢者健康診査の問診、週に１回以上外出している割合のデータとなります。津市の男性は令和３年度は、９１、１％、女性は８８、１％でした。津市は三重県、国とほぼ同様の傾向で、令和２年度より令和３年度が増加しています。

次に「感染症・熱中症」です。計画書９１ページをご覧ください。目標は「感染症や熱中症を予防しよう」です。ありたい姿を「ふだんから手洗い・うがいをします」、「免疫力を高める生活を心がけます」としました。計画書９２ページに地域で進めていくことを記載しています。健康づくり課としては、梅雨明けの時期から熱中症対策の啓発をホームページや出前健康教室を通して実施しています。津市の最新のデータとしましては、熱中症による救急搬送者数は、猛暑日が多かった平成３０年度は４１１人でしたが、その後２００人前後となっていました。グラフに記載しておりませんが令和４年度は２４７人、目標値の１００人を超えている状況となっております。健康づくり課では６５歳以上の人に対してインフルエンザ予防接種を自己負担１，２００円で接種できるように公費負担をしています。令和２年度は新型コロナウイルス感染症対策で自己負担を０円にしましたところ接種率が上がりました。令和３年度は、自己負担１，２００円に戻りましたが、目標値の６０％を達成しています。

次に「災害への備え」です。計画書９３ページをご覧ください。目標は「普段から自分の健康状態を知り災害に備えよう」です。ありたい姿を「災害時に起こりやすいこころと体の変化やその対処方法について理解します」、「持病や障がいがある人、妊婦等については健康状態を本人や家族が説明できるようにしておきます」としました。計画書９３ページに地域で進めていくことを記載しています。こちらは現時点ではデータはありません。以上で説明とさせていただきます。

【草川会長】

ありがとうございました。ここからは、地域での取組と課題についてグループワークという形ですが、各分野全部話していくと大変だと思いますので、どの分野を話し合うか絞ってお話いただけたらと思います。事務局が進行係として入るそうです。書記と発表はグループの中で決めてください。グループ

ワークの内容についてもう少し別の説明があるそうです。よろしくお願いします。

【事務局】

グループワークの説明を少しさせていただきます。本日はまず受付にて回収させていただいたのですが、前回のグループワークで進めた事項について、御所属での取りまとめを提出していただきありがとうございました。今回はその続きになります残りの5つの分野についてのグループワークをこれからしていただきたいと思います。説明ですが、資料2をご覧くださいよろしいでしょうか。下の表の左側、「地域で進めていくこと」につきましては、計画書に記載された内容が入っております。「生活習慣病・がん」の分野で説明をさせていただきます。計画書の80、81ページをお持ちであれば併せてご覧ください。左の上に「生活習慣病とがんを予防するために、健康的な生活習慣を身につけよう」の目標や「自分の適正体重を維持します」、「1日の食塩摂取量を減らします」、「年に一度がん検診や健康診査を受け、健康管理をします」、「子どもの頃から早寝早起きの習慣をつけます」という、この4つのありたい姿に向かうために81ページ、具体策として「私ができること」、「地域で進めていくこと」、「市が取り組むこと」を明確にし、それぞれの役割を踏まえてそれぞれの健康づくりの取組を進めることとしています。「地域で進めていくこと」につきましては、この計画を策定する際に懇話会委員の皆様からいただいた「こんな取組ができますよ」とか「この機会にこんな啓発ができますよ」という具体的な内容について、どの団体が進めるかということを書いております。これらを資料2の評価シートに転記しております。これからの時間はグループで「地域での取組と課題」について御検討いただき、平成29年度からの取組の評価の為に皆様から御意見を伺いたいと思います。資料の真ん中の「現状と成果」につきましては左側の具体策に対しまして、取組を進めていただいている団体が実際に取り組んでいることや、市民の方の反応、効果を感じたエピソード等を御記入下さい。右側の「課題」の部分につきましては、取組を進めるうえで感じていることや気づいたこと、今後改善したいこと等を御記入ください。また取組を行っている団体ではないけれども日頃の地域での活動を通じて、現状や課題に感じる場合もある場合は是非お願いいたします。全ての枠を埋めていただくのは難しいかと思いますが、できるところまで結構です。以上です。

【草川会長】

ありがとうございます。全部網羅的には難しいと思いますので、それぞれやり易いところ、特にここを話したいというところを集中的にされるのでいいと思います。時間としては15時までに話し合いを一応まとめていただいて、その後発表という形になります。30分ほどお話しただけかと思いますが、よろしくお願いします。

(グループワーク)

【小林副会長】

皆さんすみません。まもなく15時になりますので、今お話の真っ最中だと思いますけれども、時間になりましたので、グループで話し合ってくださいました内容を発表していただきたいと思います。時間の都合上、2グループぐらいで、もし時間があれば3グループと考えておりますので、絶対発表するというグループがありましたら手を挙げていただけますでしょうか。1グループに手を挙げていただきましたので発表お願いいたします。

【佐藤典子委員】

1 グループでは、まず生活習慣病のがんと減塩を中心に話し合いました。一番、印象に残っているのが、減塩について一人一人説明していくのは難しいとのことでした。イギリスでの取組について教えていただきましたが、加工会社と提携して加工食品の塩分を徐々に減らしている。イギリスの国の方たちは、あまり塩分を減らされていることに気付かないが、減塩に取り組むこととなっているという話を聞いたのがすごく印象深かったです。がん検診についてですが、説明があったがん検診受診者数では、令和2年、令和3年はコロナで受けている方は少ないかなと思ったけれども、意外と受けてくれていた。受診者数が減っている中、がん検診を受けた方で、来年も行こうと言っていた方がおられて、その理由としては対応が良かったからということがあったそうです。検診を受けましょうと推奨するのに、プラスして検診を行う側の関わりも大事だというお話も聞きました。それと、病気に関する診療方法についてですが、医師が患者にこのようにして貰いたいという伝え方についての話の中から、NGOという団体は、患者に考えて貰ってから、その治療を受けるかどうかを決めていただくというお話がありました。色々なお話の中から、やはり人との関わりや対応は、心の関わりが大事と感じました。以上です。

【小林副会長】

ありがとうございました。後はどうでしょうか。4グループ、お願いできますでしょうか？

【亀井委員】

4グループです。「生活習慣病・がん」の分野ですが、医療機関は日常診療や地域の行事や講座などを通じて、生活習慣病予防や健康診査・検診受診について啓発します、について話をしました。

医療機関に所属しているのは僕だけなので、歯科の話だけとなりました。当然日常診療では患者さんに対して、毎日のように生活習慣病の予防について話をさせて貰っています。地域の行事ですが、年に1回、6月の1週目の日曜日に歯と口の健康展という市民向けのイベントを隣のリージョンプラザで開催しています。内容としては、80歳で自分の歯を20本残しましょうという「8020運動」を展開しており、80歳で達成された方を表彰したり、小学生に歯と口の健康に関する図画ポスターとして絵を描いてもらいコンクールを行って表彰し会場に掲示するというを行っています。それに加え、無料の歯科検診や、口の中をよく見ると粘膜に変化があり目で見てある程度分かる口腔がん検診を実施しています。また、虫歯予防のフッ素塗布を無料で行っている事業です。地域の行事としてはそういうことをさせていただいております。

【小林副会長】

ありがとうございました。あともう1つ、どこか御発表いただけるところは手を挙げていただけると嬉しいです。では、3グループよろしく願いいたします。

【溝田委員】

3グループです。まず「生活習慣病・がん」の分野で、地域サロンにおける健康づくり推進員と食生活改善推進員の活動を話し合いました。サロンで集まった時にがん検診の話をすると、そこで高齢者同士で情報交換が進んでいく。コロナ禍で最初こそは集まらなかったけど案外集まれたし、啓発もできたねというお話でした。それから、減塩の取組について、食生活改善推進員は、調理実習を9月から再開していますが、減塩については実際食べてみないと、これでよいという頃合いが伝わりにくいそうです。減塩の料理を、減塩でも食べてみて美味しかったねと伝えるのは、やはり実際試食してみることが非常

に大切だというお話がありました。

また、「休養・こころ」の分野でも、コロナ禍に外食はできなかったが、小さな単位で、家庭内等で集まって食べるときに色々な話題を提供したことで絆を深めていけたことがありました。それから、事業所の取組ではストレスチェックが制度化されておりますので、それをベースにして欠勤とか遅刻とか従業員の状況を常に見守っていくということが、管理者としては大切であり、当然事業所としてはそういう管理者の教育に力を入れているそうです。またワークライフバランスという視点では、休暇制度も含めて従業員さんの積極的な活用ができるような制度を利用できるよう声掛けなど大切だというお話がありました。

「仲間づくり」の分野では、集まって楽しくすることが大切ですが、集まるに当たっての課題として、移動の手段がないことが挙げられました。特に高齢者にとって、集まりたいけれど、どこかに行こうと思ってもその移動手段が年齢を重ねると減ってきているというのが課題とのことでした。

それから「感染症・熱中症」の分野では、調理実習などでも感染対策ということでマスクや手袋という意識がすごく進んできていますが、もう2年も3年もやってきているので、少し慣れが出てきているという現状だそうです。例えば手袋をしたからよい、と思うのではなくて、手袋をしたらどのような場面で取り換えるのかというような衛生管理を伝えていくことも忘れてはならないというお話がありました。

最後に「災害」ですけれど、安否訓練、といったものも取り入れながら、皆さんの中で災害というものの意識というのを常に喚起しておくということが非常に大切で、いざ災害が起きた時にはその時に何が必要かということを意識喚起しておくことが、未然の備えとして大切なのではないかなというお話がありました。以上です。

【小林副会長】

ありがとうございました。皆さんが所属いただく組織や団体で取り組んでいただいたことや課題として挙げてきた内容が、次期、第4次健康づくり計画に反映されていることになります。今回も宿題ということで各所属の組織ごとの評価を考えていただく用紙の提出をお願いしたいと思います。それについて事務局より説明をいただきますのでよろしく願いいたします。

【事務局】

お席にあります透明ファイルをご覧ください。茶色の封筒の上に置かせていただきました。委員の皆様が、御所属の組織や団体にお持ち帰りいただき、先ほど評価いただいた「生活習慣病・がん」から「災害への備え」までの5つの分野について、御相談いただき、「現状と成果」、「課題」欄に御記入いただきたいと思います。該当すると思われる御所属の具体策につきましては、事務局の方でマーカーをさせていただきます。御所属の取組ではないけれど、日頃の活動から課題に感じていることがありましたら、右の「課題」欄のみ御記入をお願いします。御所属にて御記入いただいたシートは、事務局でとりまとめますので、12月15日までに事務局に返送をお願いいたします。以上です。

【小林副会長】

ありがとうございます。また報告の提出をお願いしたいと思います。

3. 津市第3次健康づくり計画5分野について

【小林副会長】

では続きまして、事項書の3、津市第4次健康づくり計画策定に向けてのアンケート調査の進捗状況について事務局お願いいたします。

【事務局】

アンケート調査の進捗状況について説明させていただきます。3,000枚配布させていただきました計画アンケートは11月24日現在、有効回収数は1,330、回収率は、44.5%でした。多くの方に御回答いただくことができました。次に小学校・中学校のアンケートについては、前回の第2回懇話会にて案を提出させていただき、皆様から様々な御意見ありがとうございました。できる限り御意見を反映し、学校経由で依頼して、現在受付中です。先生方にも大変お忙しい中御協力いただき感謝しております。成人アンケートとともに、有効回答かどうか、選定しながら集計作業を行っております。次回懇話会にて、アンケート集計結果について御報告させていただく予定になっております。以上です。

4. 津保健所からの情報提供

【小林副会長】

ありがとうございました。では、続きまして事項書の4、津保健所の副所長様の方から情報提供をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

【紀平副所長】

前はWeb参加をさせていただいて、声が聞きづらかったようで申し訳ありませんでした。健康づくりに関して、国の健康日本21の次期計画については、今年度中に策定して来年の春には公表、令和6年から開始となっております。それにあわせて三重県の計画につきましては、来年度中に最終の評価をして次期の計画を策定し、国と同じように令和6年からという予定になっております。今年度は国民健康栄養調査を実施することになっており、三重県では四日市市、鈴鹿、尾鷲、熊野保健所の管内、4地区で調査の対象が当たっております。例年、身体状況、栄養摂取、生活習慣という内容で調査をしています。三重県の県民・栄養調査に関しましては15歳以上の県民6,000人を無作為に抽出しまして、津は920人の方が対象になっております。身体調査は、コロナの関係がありますので、簡易式の自記式食事歴法質問票を事前に送付させていただき、健康の意識調査、歯科疾患実態調査も併せて実施することになっております。調査結果は3月中にまとめをすることになっております。前回、国の最終評価報告を御説明させていただきましたが、最終評価の53項目中、目標に達していた項目が8項目ございまして、健康寿命の延伸、75歳未満のがんの年齢調整死亡率の減少、脳血管疾患・虚血性心疾患の年齢調整死亡率の減少、血糖コントロール指標におけるコントロール不足者の割合の減少、小児人口10万人当たりの小児科医・児童精神科医の割合の増加、認知症サポーター数の増加、BMI20以下の高齢者の割合の増加の抑制、共食の増加という8項目については目標に達していました。しかし、悪化している項目が4項目あり、メタボリックシンドローム該当者及び予備群の減少、適正体重の子どもの増加、睡眠による休養を十分にとれていない者の割合の減少、生活習慣病のリスクを高める量を飲酒をしている者の割合の減少です。国の方もまた目標値を立てながら計画を立てていく予定になっているようです。またとこわか健康マイレージですが、市の方も一生懸命取り組んでいるところではあるんですけど、三重県では、特定協力店が津管内で176店舗、取組の協力事業所が159店舗ある状況です。

加えて、健康の保持・増進に企業として取り組んでいただいている三重とこわか健康経営カンパニーがあり、今年度県全体に236企業、津管内は36企業で取り組んでいただいているという状況です。

次にコロナの状況ですが、9月26日から全国一律で発生届の限定化というのが始まり、全国で統一をされ、65歳以上の人、入院を要する人、重症化リスクがあり例えば酸素療法やコロナのお薬が必要な人、妊婦さんという4項目に該当する人だけが発生届を出していただくことになっています。保健所は7月、8月は1日に700人ぐらい発生届があり、かなり逼迫した状況でしたが、このことで調査の負担が軽減しております。ただ一定数重症化する方もおりますし、高齢者の方々の入院調整もございまして、24時間対応しております。それと、第8波に入ってきたところで、一時期減っていましたが増加傾向にあります。それと、高齢者の施設にもクラスターが今、複数発生しており、県庁の感染制御チームが施設からの依頼を受けて対応している状況です。最後に、ゾコーバというコロナの経口のお薬が11月22日に緊急承認をされたというニュースがありましたが、これについては全ての医療機関で処方されるものではなく、一部の医療機関、薬局の扱いとなっております。今後、どこが処方しているかというのがホームページ等で公表される予定です。罹らないのが一番です。三重県はインフルエンザはそれほどではありませんが、インフルエンザも注意していただくよう、よろしくお願いいたします。

【小林副会長】

情報提供ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

5. その他連絡事項

【小林副会長】

では続きまして、事項書の5、その他の連絡事項ということで、事務局から連絡お願いいたします。

【事務局】

事務局より御連絡をさせていただきます。10月9日に開催されました津まつりと同じ日に行っている津市健康まつりで、懇話会コーナーとして減塩啓発を行いましたので、その報告をさせていただきます。スライドをご覧ください。会場に流したゲンエンジャーの啓発ソングを聞いていただきながら、立ち寄っていただいた方に紙芝居「元気戦隊ゲンエンジャー」のお話をお伝えさせていただくなど、減塩の啓発をさせていただきました。子どもさん達は嬉しそうにぬりえをお持ち帰りいただき、おうちで取り組んでいただく減塩啓発につながったと思います。

引き続きましてお手元に茶色い封筒を御準備しておりますので、そちらをご覧ください。

先程も説明させていただきましたが、減塩啓発ぬりえが完成しました。皆様のお手元には4種類のぬりえを入れさせていただきました。健康づくり課では幼児健診や親子が集まる機会に紙芝居と共に啓発をし、配布をしていきたいと考えています。紙芝居の貸し出しをしている市内の図書館でもこちらのぬりえを配布していただいている状況です。

前回の懇話会で皆様から御意見を頂戴しました受動喫煙防止チラシと、インフルエンザ・带状疱疹の予防チラシですが、そちらも10枚ずつ入れさせていただきました。御所属の方でこちらを活用して啓発していただける場合は、会場出口で追加のチラシをお渡しさせていただきます。第3次健康づくり計画の推進のために作成しました他の啓発媒体も出口にありますので、是非お持ち帰りいただきますようお願いいたします。

次回の第4回津市健康づくり推進懇話会は、令和5年1月19日（木）の午後2時から午後3時30

分、本日と同じ会場を予定しております。よろしくお願いいたします。

【小林副会長】

ありがとうございました。時間通りに終了させることができました。皆さん、お気をつけてお帰りください。風邪をひかないようにお互いに注意しましょう。ありがとうございました。